



学びの庭

甲府市立甲運小学校
学校だより第13号
平成30年3月19日
(文責：勝村 正樹)



平成29年度が修了となります



ぶどう棚の下には、一面春の花が咲き、大蔵経寺山のふもとを新型の特急列車が走り抜けていきます。平成29年度の教育活動が修了しようとしています。保護者や地域の皆様には、今年度も本校の教育にご理解とご協力をいただきありがとうございました。

明日は、いよいよ卒業証書授与式です。準備を整え、卒業生の晴れの門出をみんなで祝福していきたくと思います。

宇宙神代桜降臨！ 6年生植樹式に参加

3月16日(金)に「宇宙神代桜」の植樹式を行いました。この宇宙桜は、スペースシャトル・エンデバー号に乗って宇宙へ旅立ち、国際宇宙ステーションに保管され、再びエンデバー号で帰還した種から生まれた桜だそうです。甲運地区自治会連合会会長の佐藤一男様、相川地区老人クラブ連合会会長の数野清一様ご出席のもと、桜守の三枝基治様のご指導により、ぶどっこ山に植えられました。苗の生長を願いながら6年生が順番に土をかけました。宇宙線を浴びたためか、



早ければ2年ほどで開花するかもしれないということです。大切に育てていきたいと思えます。

早くもお兄さんお姉さん 保育園年長児に指南

保育園年長児が小学校入学に備えて来校し、1年生から朝のしたくのしかたなどを学びました。1年生の子どもたちは、お兄さんお姉さんの姿に早変わり。ライドセルを下ろしてやったり、ロッカーに入れるのを手助けしたりと、大活躍でした。



新登校班長・副班長指導行われる

甲府市交通指導員の方から歩行の仕方、道路の横断の方法などについて学びました。横断歩道を渡る時には、班長旗を掲げ、左右を確かめること、班員も手を上げることも確認しました。これからも安全に登下校ができるように見守っていきます。



「見守りに感謝する会」開催

3月2日(金)に日頃お世話になっている地域の方々を学校にお招きして、「見守りに感謝する会」を開きました。5・6年生の歌や合奏を披露した後、全校で



「ふるさと」を合唱しました。私は、地域の方々への感謝の気持ちを日頃のあいさつで伝えようと子どもたちに話しました。

めでたく同窓会会員となりました

3月16日に、6年生のための同窓会入会式が行われました。同窓会会長の末木好臣様から6年児童代表の小川加偉さんに記念品が手渡されました。これで同窓会会員は、6,720名となります。



心がほっとスマイル・6年生特集

・放送室で賞状伝達式を行った時のことです。放送スタジオが絨毯敷きのため、私は上履きを脱いで隅に置きました。すると、スタジオに入ってきた子どもの足に触れ、その上履きがひっくり返ったの



です。それを見た6年生の放送委員の子どもが直ぐに駆け寄り、靴をそろえてくれました。その素早い行動をととても嬉しく思い、後でお礼の言葉を言ったのでした。

・卒業式の予行が始まる少し前、定位置に座った私のところに数人の6年生が歩み寄りましました。そして、「よろしくお願ひします。」と言ったのです。私は「卒業までもう少しですね。」と返しました。それを聞いてにこやかにうなずく6年生の表情は、すでに中学生そのものでした。



・正面玄関前に「思いやりの木」の掲示がお目見えしました。思い思いにありがとうのメッセージが書いてあります。その中に私宛ての6年生からのメッセージを見つけました。「校長先生へ いつも声をかけてくださりありがとうございます。中学校にいても忘れません。お元気で！」その6年生こそ、その子が5年生の時に、まだ慣れない私に真っ先に声をかけてくれた初めての友だちだったので

・児童会役員の6年生から、メッセージ入りの色紙をもらいました。その中の一つに、「いつも旗振りをしてくださりありがとうございます。そして、誕生日カードを作ってくださいありがとうございます。校長先生の笑顔を見ると、私もつ



られて笑顔になります。」と丁寧な文字で綴られてありました。本当は、元気に登校してくる子どもたちから私が勇気をもらい、笑顔になっていたのです。

学校給食インフォメーション

梶原千春学校栄養職員に聞きました。

◎子どもたちへの願ひ

食べ物が口に入るまでは、自然の恵みや多くの人の手を経て食卓に届きます。給食に限らず、食べ物を大切にしてほしいと思います。



◎保護者への願ひ

献立表に目を通していただき、お子さんに何を食べたか聞いてください。初めて口にすることはなかなか箸が進まず、残してしまうこともあります。苦手なものは、一口ずつでも食べられるように、声をかけてください。

◎給食室で工夫していること

・子どもたちが食べやすいように大きさを考えて切ります。

・うま味や野菜の甘味を生かした味つけをします。

・料理は色よく仕上がるように、加熱時間を考えて調理をします。

学校内にある百葉箱がリニューアル

老朽化が進み屋根がぼろぼろになっていた百葉箱を佐々木啓一技能員が修復しました。おかげで新品のように生まれ変わりました。せっかく設置されている備品なので、子どもたちにその存在を知らせ、理科で活用していきたいと思います。



【百葉箱とは】

主に外の気温をなるべく直射日光の影響や雨などの影響がないように測るために作られたものです。外側は日光を反射しやすいように白く塗られており、風通しをよくする為によろい戸を設けるなどの工夫が施されています。中には温度計(最高・最低温度計、自記温度計)や乾湿計(湿球と乾球の示度の差から湿度を求める計器)などを入れます。気温を測る高さは地上から1.2~1.5mと決められています。